

## 2020年事業の展開(案)

平成30年3月

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年には、あらゆる文化を融合した総合的な祭典を実施する。実施に当たっては、府・市や経済界、文化団体、民間団体等、様々な主体が多種多様な文化プログラムを実施することが想定されるため、実行委員会との連携を図り、関連事業として一体的に『京都から世界へ』京都文化の魅力を発信する。

2016

スポーツ・文化・ワールド・フォーラム

2017

パフォーミングアーツ(東京キャラバンin京都)

アーツ&amp;クラフツ(公募展, シンポジウム等)

2018

くらしの文化

2019

ICOM(国際博物館会議)、ラグビーワールドカップ、  
文化×産業展覧会、IPCC(気候変動政府間パネル)  
UNWTO/UNESCO観光と文化をテーマにした国際会議

2020

実行委員会事業(例)

○オープニングイベント

オリンピック・パラリンピックの開幕を祝う事業

○総合フェスティバル(メインイベント)

・パフォーミングアーツ(舞台公演)

・アーツ&amp;クラフツ(美術・工芸)

・くらしの文化(茶道・華道・京料理・京菓子)

○クロージングイベント

○フォーラム

主体事業  
様々な

文化芸術創造拠点・京都プロジェクト

京都市美術館オープニング事業

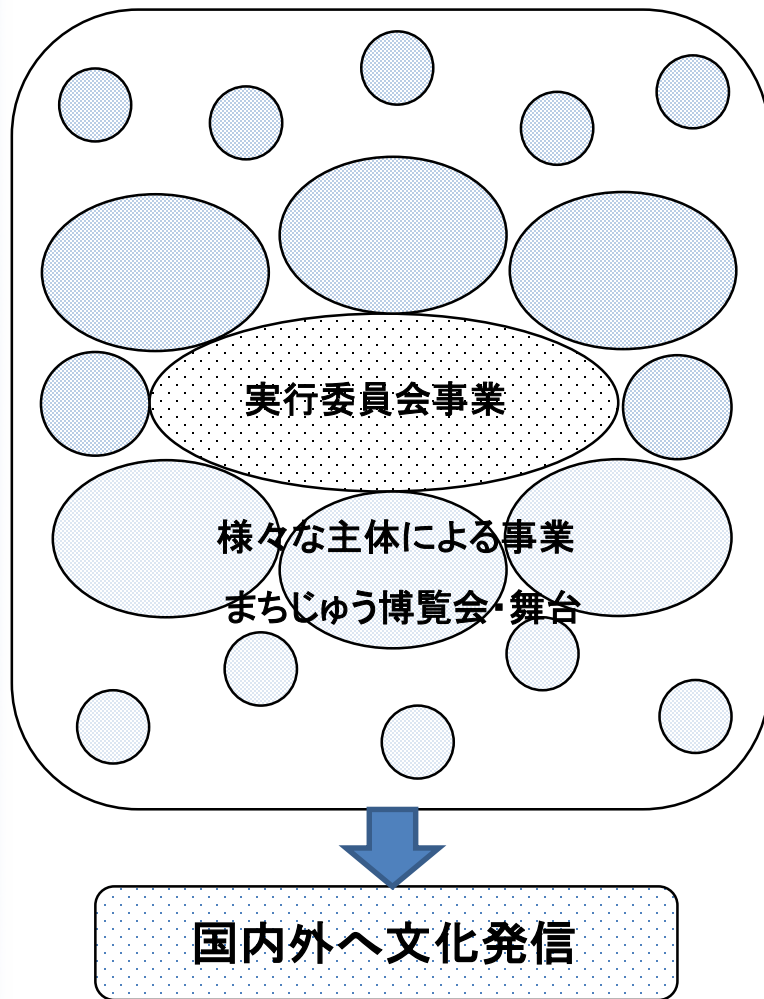
地域発信型芸術祭(府域)

国際司法会議(国連) 等々

2021

ワールドマスターズゲームズ2021関西

## 京都文化カプロジェクト事業全体図



## 「文化交流によるフュージョン(融合) & クリエイション(創造)」

○グローバルな世界の中で、文化は地域のアイデンティティーであり、経済の価値観とは無関係に、思いがけない流れが起きたり、大きな動きに発展する可能性を秘めている。

○2020年前後は、日本で国際的なスポーツ競技大会や国際会議が多く開催される予定であり、この絶好の機会に我々がすべきことは世界との「文化交流」である。

○「文化交流」は、人とモノを連動させながら、日本文化と世界文化をミックスしていく、「フュージョンしながらクリエイションする文化」、つまり、文化同士が融合し、21世紀のジャポニスムといえるような新たな価値を再認識して形を変えた文化を創造していくことである。

○京都は、文化交流によって違う価値観を生み出してきたが、価値観の異なる東京や産業界を引き込んで、人とモノを連動させながら、「文化交流」によって創造した事例を紹介し、日本の未来のあり方を積極的に取り上げることができる。